2021年（令和3年）
7月30日
（金曜日）

THE KENSETSU MIRAI TSUSIN
建設未来通信

茨城全県版
発行所：茨城県水戸市笠原町1523-3 桂ビル2階
TEL:029-291-8855 FAX:029-291-8854
https://www.kensetsumirai.co.jp
新聞購読料 月額6,000円（税別）
電子版購読料 月額1,500円（税別）

人と環境の未来を創造する
大昭建設株式会社
代表取締役 細谷 武史
本 社／〒301-0822 茨城県龍ケ崎市1686番地
TEL 0297-64-1511 FAX 0297-64-1516
http//www.daisho-c.co.jp

インタビュー

緊急治水プロ 久慈川など集中的に実施

国交省常陸河川国道事務所 所長 日下部 隆昭氏

「茨城県は首都圏に近く、自然がとても豊かで思っていたよりもすごくいいところ。地域ごとの特色も豊かなのでポテンシャルは非常に高いと思う」と本県の印象を語る日下部氏。かつて国土技術総合政策研究所の河川研究部に在籍し、2002年度から3年間、つくばエクスプレスが開通する直前までつくば市に在住した経験を持つ。

くさかべ たかあき
1967年12月21日生まれ。53歳。東京都出身。京都大学工学部土木工学科卒。91年に旧建設省へ入省。東北地方整備局湯沢河川国道事務所長を経て現職。趣味は登山。

地元業者の活用 仕組みを工夫

7月1日から常陸河川国道事務所長に就任。すでに常陸大宮市や常陸太田市、大子町の久慈川筋を見て回ったといい、引き続き県内をくまなく巡り、全体の状況を把握したいと考えている。

緊急治水プロジェクトが進む久慈川と那珂川について「これだけ近い距離で大規模事業が同時に行われているのは全国でも珍しい。自治体や関係機関と連携し、『流域治水』の手法を用いて、24年度までの事業期間で集中的に取り組む」と抱負。

管内には国道6号、50号、51号の直轄国道がある。これらの整備については「2車線区間が多いことは着任後にたくさんの方からご指摘をいただいた。地元の期待が大きいことは承知しているので、本年度に新規事業化された酒門町交差点立体を含め、拡幅やバイパス整備などの事業進捗を図っていく」。

地元の建設業には「災害時の迅速な対応など、地域のことをよく知っている企業でなければできないことは多い。地域密着型や自治体実績評価型などといった地元業者を活用できる仕組みを工夫していきたい。さまざまな面で地元の皆さまと良好な関係が構築できれば」と期待を寄せる。

茨城の歴史点描

日本最古の噴水 玉龍泉

斉昭は「今ある風景そのもの」を庭園のパーツに見立てて、壮大な偕楽園を造園しましたが、「吐玉泉」と「玉龍泉」という人工物も設置しています。

米が経済の中心であった江戸時代、藩の収入の多寡は稲の作柄次第でした。藩主としては、利水、治水両方に関心を持たざるを得ません。

水戸藩小石川邸内の庭園「後楽園」は、神田上水の水が園内を通過しています。斉昭は、この用水量の増減により、その年の干害を予測していました。冷害は予防することが困難ですが、干害ならば用水にさえ気をつければ防ぐことができます。そこで斉昭は干害に備え、中国の専門書をヒントに揚水機を考案、『雲霓機纂（うんげいきさん）』という本にまとめています。

こうした「水」に対する造詣の深さが、「吐玉泉」と「玉龍泉」の設置に結実しました。ともに台地の際に造られ、地下水を集水するという基本構造は同じです。前者は「水量」後者は「水勢」を表現したものです。位置関係も含めて、両者はペアで考えなければなりません。

「玉龍泉」は、斉昭旧蔵の「偕楽園図」には「飛玉泉」とあり、水勢に重点を置いていたことがうかがえます。当時の水の高さは一丈（約三メートル）といわれますが、現在は一～二メートルで、桜山駐車場の片隅にあります。

現在「日本最古の噴水」として、文久元年（一八六一）に造られたという金沢兼六園内のものが広く知られていますが、「玉龍泉」は偕楽園開園時（天保十三年・一八四二）にはあったと考えられるので、どちらが古いかは明らかです。

偕楽園の表門から入っていくと、現在は鬱蒼とした杉林と竹林が広がっていますが、ところが「偕楽園図」を見ると、ここは梅林となっており、本来、明るい空間が広がり、その中の坂を下っていく目線の先に「玉龍泉」が見えるように設計されていたことがわかります。この視線と動線の関係は、また後ほど触れたいと思います。

一方、「吐玉泉」ですが、常陸太田市真弓山産の大理石「寒水石」が使用されています。石灰岩なので水に溶けやすいために、現在のものは四代目（昭和六十二年更新）とのことですが、なぜそのような性質の石を用いたのでしょうか。

謎を解くカギは、斉昭が「寒水石」をどのような場面で使ったのか、ということにありそうです。

▲現在の「玉龍泉」

茨城県立歴史館 特任研究員 永井 博

時代の変革者・徳川斉昭 ⑧

早ければ10月にも公告 学校給食センター解体

常陸大宮市

常陸大宮市は、旧大宮学校給食センター（下村田字金堀947）の解体工事を行う。早ければ10月中に一般競争入札を公告する予定で、工期は5カ月を見込んでいる。当初予算では、解体工事費に6432万8000円を措置した。

市では学校再編に対応するとともに、老朽化した大宮学校給食センターおよび御前山学校給食センターの環境改善を図るため、新学校給食センターへの集約を計画。

本年度から新しい学校給食センター（市学校給食センター、鷹巣字犬追2669-2）が運用を開始したため、既存施設は解体することとなる。

旧大宮学校給食センターは、1978年度に建築。S造2階建て、延べ床面積が821㎡。解体に係る実施設計は、2018年度に中央技術㈱（大宮営業所）が担当した。

敷地は市有地であるが、解体後の利活用などは決まっていないとのこと。

また、残る山方学校給食センター（小貫字真間下781-1）については、児童・生徒の減少を踏まえて、今後の集約なども検討する。

なお旧御前山学校給食センター（野口字内原1337）解体工事は、すでに指名競争入札で発注済み。予定価格（税抜き）は1111万円で、8月17日に執行する。

集会施設新築等に補助 対象経費2分の1以内

稲敷市

稲敷市は地区集会施設の新築や地区が管理する遊具の補修や解体を行う場合、その経費を一部助成する。補助対象事業は新築や補修、排水整備、解体、遊具補修など。補助率は対象経費の2分の1以内。

補助対象事業のうち、新築整備事業は建物本体および建物本体に属する部分、防災に関わる整備（防炎カーテン、火災警報器など）が対象。上限額は500万円。

補修改修事業は建物本体およびそれに属する部分、防災に関わる整備のほか畳の張り替えや水道接続工事が対象。上限額は200万円。

排水整備事業は下水道等の供用開始後2年以内に実施する公共桝までの配水管工事、水洗化のためのトイレ改修工事が対象。上限額は100万円。

再建支援事業は災害等で損傷した建物本体および建物本体に属する部分が対象となる。上限額は500万円。

解体事業は建物本体の解体および処分工事が対象。敷地の外構および造成工事は対象外。上限額は100万円。

遊具補修等事業は区が管理する既存遊具の補修および撤去で遊具新設は対象外。上限額は10万円。

リサイクルプラザ解体 工事は22年度着手

東海村

東海村は、リサイクルプラザとうかい（村松2087）の解体工事を計画している。本年度は設計業務に取り掛かり、2022年度に着工する予定。設計業務の委託に係る指名競争入札は7月27日に執行し、一級建築士事務所A.I.設計が156万円（税抜き）で落札した。

施設は本館が1977年度に建築。S造平屋建て、延べ床面積588・25㎡。旧作業棟が79年度に建築。S造平屋建て、延べ床面積94・77㎡。また、旧休憩棟が79年度に建築。S造平屋建て、延べ床面積170・34㎡。いずれも耐震性能は旧耐震。

村清掃センターの近くにあるリサイクルプラザ（旧老人福祉センター）では、リユース品の展示・販売などを行っていた。施設の老朽化に伴い、2020年度をもって閉館。現在は使われていない。

なお解体後の跡地（村有地）利活用については、現時点で決まっていないもようだ。

住宅事業者向け2876㎡ 県一般競争入札で分譲

茨城県 島名・福田坪

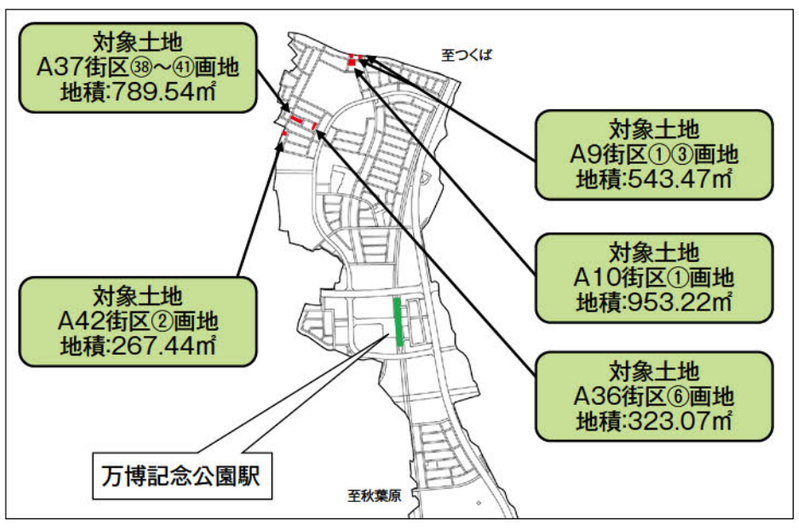
県宅地整備販売課は、島名・福田坪地区の住宅事業者向け用地を一般競争入札で分譲する。面積は2876・74㎡。予定価格（最低売却価格）は1億6224万8000円。開札日は8月17日。

土地の所在はA9街区①～③画地外8画地。つくばエクスプレス万博記念公園駅の北西部。用途地域は第一種低層住居専用地域（建ぺい率40%／容積率80%）および第一種住居地域（建ぺい率60%／容積率200%）。画地地積は、A9街区①③画地が543・47㎡、A10街区①画地が953・22㎡、A36街区⑥画地が323・07㎡、A37街区㊳～㊶画地が789・54㎡、A42街区②画地が267・44㎡。

土地利用の主な条件は、土地の引渡しの日から5年以内に住宅の建設および分譲事業を行うことなどを設定している。

入札説明書は8月4日まで配布。入札参加資格審査受付は同月3日、4日。落札者がいない場合などは、同月18日～12月28日までの間、先着受付で買受人を決定する。

担当は県宅地整備販売課宅地企画・販売担当（電話029-301-2798）。



クリーニング店新築

㈱ユーゴーソリューション

㈱ユーゴーソリューション（小美玉市中延1788）は鹿嶋市にコインランドリー兼用クリーニング取次店「クリーニング専科鹿嶋鉢形店」を新築する。施工は坂本メンテナンス㈱（稲敷市）で予定工期は8月31日まで。

建設地は鹿嶋市鉢形1518-17で敷地面積は716・26㎡。市道0105号線沿いに位置する。

施設はW造平屋建て構造。建築面積171・83㎡、延べ床面積160・65㎡。最高高さは6・023m。敷地内にボンベ庫や駐車場など設ける。

なお、設計は㈱井川建築設計事務所（稲敷市）が策定した。

県土木部・幹部きょうの動向

（○＝在庁 ●＝不在）

	午前	午後
【本課】		
部長	○	○
次長（事）	○	○
次長（技）	○	○
都市局長	○	○
港湾振興監	○	○
企画監	○	○
監理課長	○	○
用地課長	○	○
検査指導課長	○	○
道路建設課長	○	○
道路維持課長	○	○
河川課長	○	○
港湾課長	●	●
営繕課長	○	○
都市計画課長	○	○
都市整備課長	○	○
下水道課長	○	○
建築指導課長	○	○
住宅課長	○	○
【出先】		
水戸土木所長	○	○
常陸大宮土木所長	○	○
大子工務所長	○	●
潮来土木所長	○	●
土浦土木所長	○	●
筑西土木所長	●	●
常陸太田工事所長	○	○
高萩工事所長	○	○
鉾田工事所長	○	○
竜ケ崎工事所長	○	○
常総工事所長	○	○
境工事所長	○	○

一歩先行く“受注戦略”

知りたい情報がとにかく早い

電子版 & Web版

■外出先からいつでも読める
■新聞より早く情報入手
■顧客拡大など営業ツールに最適
■現場の社員配置も指示

「情報先取り」今日の紙面を丸ごと“チェック”

一番の特長は、自宅や外出先から見たいとき、読みたいと思ったときに、いつでもどこでも手軽に閲覧出来ることが最大のメリットです。スマートフォンやタブレットなどの携帯ツールで簡単に読めるため、取引先や元請け、下請け先、現場の職人配置にも利用可能なので、即時にその場で連絡・調整が図れます。また、新規顧客の拡大など営業ツールに最適です。速報性に優れ、いち早く確かな情報を提供します。

「電子版」も「Web版」も
只今、無料サービスです